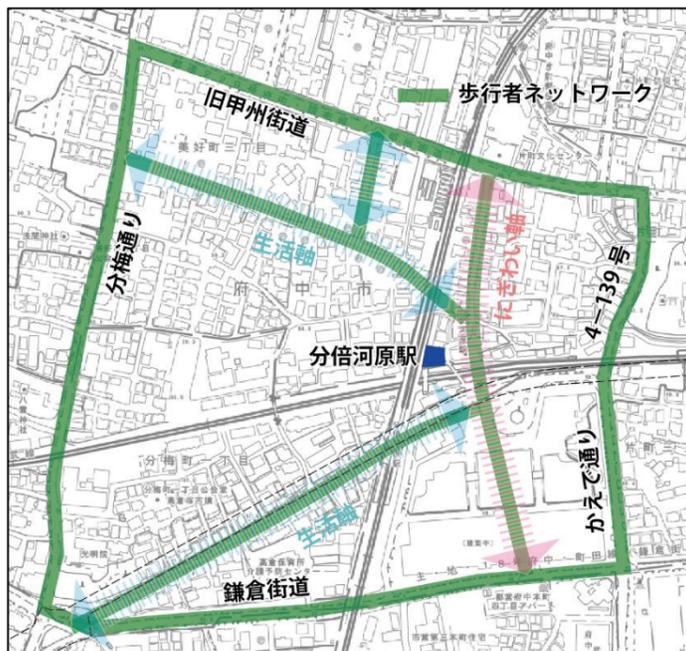


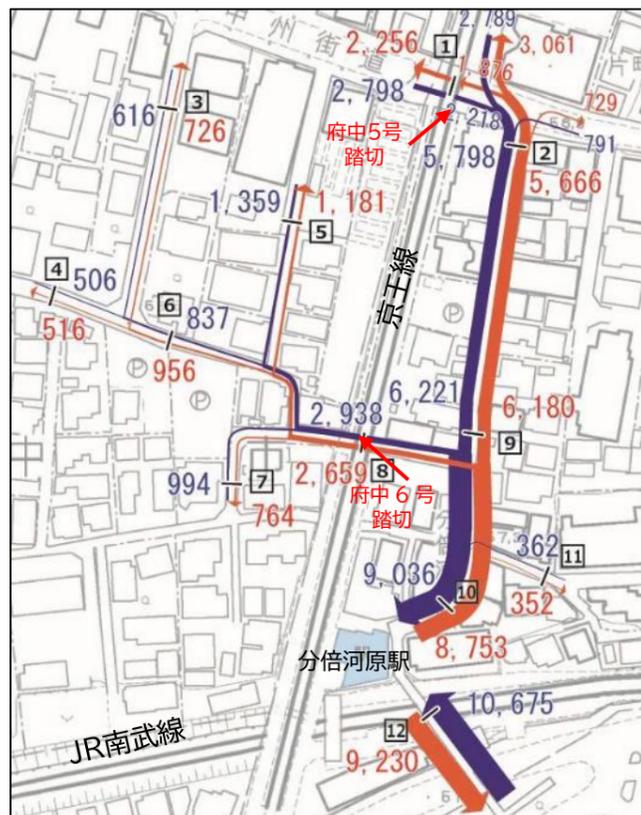
14時間交通量の現状
(令和元年10月17日(木) 6:30~20:30 調査)

駅周辺における整備後の動線変化の想定

歩行者ネットワーク方針



歩行者動線



- 駅前の歩行者交通量 (14時間総量:17,789人)の約31%(14時間総量:5,597人)が府中6号踏切を通行。
- 府中6号踏切を通行する歩行者交通量の約70%(3,882人)は旧甲州街道方面の交通量。

凡例
 ➡ 駅へ近づく流動
 ➡ 駅から離れる流動

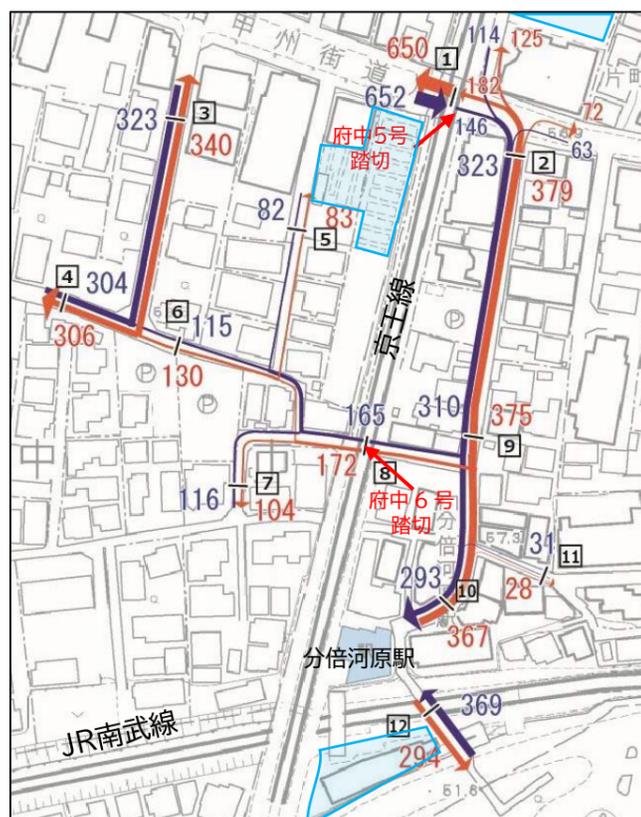


- 東西自由通路及びアクセス道路の整備と、それに伴う府中6号踏切の閉鎖により、現在、踏切を通行する歩行者(14時間総量:5,597人)の多くは、東西自由通路を通ることが予想される。
- 歩行者ネットワークに掲げるにぎわい軸及び生活軸に沿った歩行者動線が形成される。

自転車ネットワーク方針

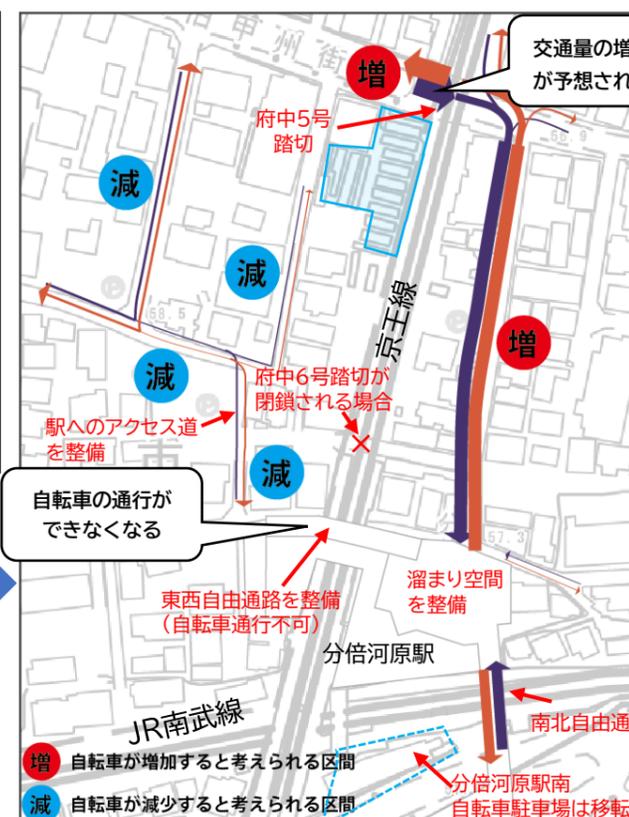


自転車動線



- 府中6号踏切を通行する自転車交通量(14時間総量:337台)は、歩行者交通量(14時間総量:5,597人)の6%程度。
- 商店街通りから跨線橋を通行する自転車交通量(14時間総量:660台)の概ね1/2が府中6号踏切を通行。

凡例
 ➡ 駅へ近づく流動
 ➡ 駅から離れる流動



- 東西自由通路の整備とそれに伴う府中6号踏切の閉鎖により、現在、踏切を通行する自転車(14時間総量:337台)は踏切を通れなくなるため、その多くは府中5号踏切(旧甲州街道の踏切)を通行して、商店街通りを通り、南北自由通路を通ることが予想される。
- 旧甲州街道の交通量が増え、自転車ネットワークに沿った自転車動線が形成される。